2月　ほけんだより

２月２１日
保健室　白川

２月も終わりに近づいてまいりました。まだまだ朝晩は冷え込み、寒い日が続いています。

この寒さでも、子どもたちは時折半袖になって遊びます。また、「寒い」とも言わず、ボランティアや外遊びを頑張る子どもたちを見ると、子どもの強さや頼もしさをひしひしと感じます。



４月には進級進学を控える子どもたちが、さらに心身を強くし成長できるよう、今後も支援していきたいと思います。今年度も残り１か月ほどとなりますが、どうぞよろしくお願いします☆

～命の大切さを学んでいます～

２月１０日～１４日は、性に関する教育（性教育）週間でした。３学期のテーマは「命」です。これまでご家庭で大切に育ててもらった命を、これからも大切にできる子どもたちであってほしいという思いを込めて、各クラス適切な時期に、性や命に関する指導を実施しています。各学年の授業の様子を紹介したいと思います。

１年生

「たいせつなからだ」というテーマで授業を行いました。体の内外の部分の名前や働きについて学びました。初めて聞く体の部分の名前を、一生懸命ワークシートに書きこんでいました。





また、聴診器で実際に心臓の音を聞き、心臓の位置やどんな音なのかをとても楽しそうな表情でお友だちと伝え合っていました。

２年生

２年生については、来週実施予定ですので、次回の保健だよりで紹介をさせていただきたいと思います。

３年生

「命の始まり」というテーマで授業を行いました。２年生で学習した、自分の命の始まりについての復習や子どもと大人の体の違いについて話し合いを行いました。体つきの変化など様々な意見を出してくれました。そして、その体の変化は、命をつないでいくためのもので、みんなの体は、その変化のための準備を始めていることを伝えました。自分の体にも変化が現れてくるということに驚きながらも、「体を大切にしたいです。」との感想を伝えてくれ、とても嬉しく思いました。



４年生

「体の中で起こる変化」というテーマで授業を行いました。思春期に起こる体の変化やその仕組みについて学習を行いました。初めて聞く言葉や難しい言葉も多くありましたが、真剣な表情で話を聞くことができていました。また、体の変化は、①だれにでも起き、②一人ひとり違い、③命のつなぐため」であることをみんなで学習しました。



５年生

「受精の仕組み」というテーマで授業を行いました。受精から出産までの仕組みについて学習しました。理科で習っている知識もあったため、どの児童も積極的に意見を出してくれました。また、質問も多くあり、積極的に学ぼうとする姿勢がとても強く感じられ、クラス全体の命や体に関する学びへの意欲の高さを感じました。



６年生

「エイズを正しく知ろう」というテーマで授業を行いました。エイズという言葉を初めて聞く児童も多くいましたが、話を真剣に聞き、エイズに対する理解を深めることができました。授業後には、「エイズの人を差別せず、応援してあげたい。」という声も聞くことができました。この学びを、今後の生活にも活かしていってほしいと思います。



これからも引き続き、命の大切さや尊さについて、子どもたちに話をしていきます。ご家庭でもぜひこの機会に、子どもたちへ「生まれてきてくれてありがとう」のメッセージを伝えていただけたらと思います。